丹波県民局 丹波農林振興事務所

令和８年１１月１７日（火）
担当課　農政振興課

“丹波篠山 山の芋フェア”の開催

丹波地域の秋から冬を彩る丹波栗、丹波大納言小豆に引き続き、丹波篠山市産の山の芋の魅力を発信するため、11 月 21 日から 2 月にかけて”丹波篠山 山の芋フェア”を開催します。

山の芋の生産者や山の芋取扱店(飲食、購入)等と連携し、山の芋の魅力を発信します。

今回で９回目の開催となります。

(1)期　間　令和８年 11 月 21 日(土)～令和９年２月７日（日）

(2)場　所　丹波篠山市内のレストラン、直売所など 41 店舗

(3)主　催　丹波篠山ブランド産品戦略会議（丹波篠山市農都政策課内）
※構成員：丹波篠山市、丹波農林振興事務所、丹波農業改良普及センター、JA 丹波ささやま

(4)内　容　とろろ丼やとろろうどん・そば、山の芋の一品料理など、粘りの強さが特長の山の芋を使った料理が食べられる店舗や山の芋販売店、レシピをリーフレットで紹介し、旬のおいしさを楽しんでいただきます。

(5)その他　上記参加店舗でもらえるアンケートにお答えいただくと合計 20 名の方に「丹波篠山 山の芋」と丹波篠山産のお米「農都のめぐみ米」を詰め合わせた「丹波篠山とろろご飯セット」ほかが当たるプレゼントキャンペーンを実施します。また、別のステージイベント(ふるさと農業まつり)として、丹波篠山市農産物品評会で入賞した山の芋を開催初日の 11 月 21 日に三の丸駐車場において公開臨時競り市で即売します。

【今年の提供メニュー例】


猪肉とろろうどん・そば


丹波の牛とろ飯


篠山名物　猪とろ丼

丹波篠山 山の芋



丹波篠山 山の芋は、江戸時代の書物「篠山封彊志(ささやまほうきょうし)」中の「土産」の項に「薯蕷」（しょよ：山の芋を指す言葉)の記述があり、今から約 300 年前には栽培され、篠山地域の特産品と広く伝えられていました。

丹波篠山の気候風土から生まれる粘りの強さは折り紙つきで、栄養価が高く、肉質は純白できめが細かく緻密です。高級贈答品としても人気があります。

発表者名（担当者名）	連絡先電話番号
丹波農林振興事務所長　藤尾　和子 （農政振興課長　柳澤　吉彦）	0795-73-3793